

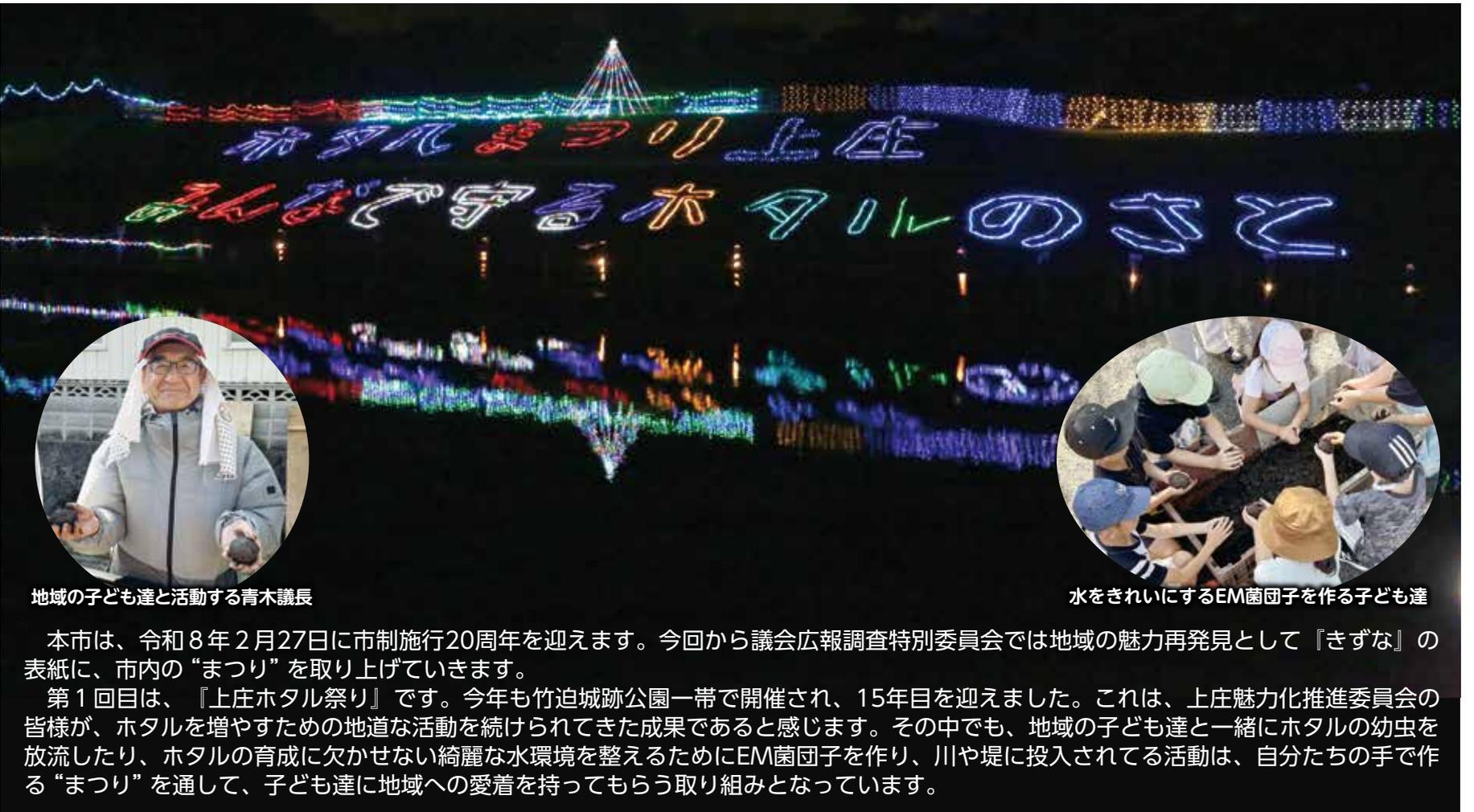


きずな

第78号

令和7年第1回臨時会
令和7年第2回定例会

●発行／合志市議会
●編集／議会広報調査特別委員会
●〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140
●TEL 096-248-2038
FAX 096-248-2047
E-mail:gikai@city.koshi.lg.jp
令和7年8月20日発行



地域の子も達と活動する青木議長



水をきれいにするEM菌団子を作る子ども達

本市は、令和8年2月27日に市制施行20周年を迎えます。今回から議会広報調査特別委員会では地域の魅力再発見として『きずな』の表紙に、市内の“まつり”を取り上げていきます。

第1回目は、『上庄ホタル祭り』です。今年も竹迫城跡公園一帯で開催され、15年目を迎えました。これは、上庄魅力化推進委員会の皆様が、ホタルを増やすための地道な活動を続けられてきた成果であると感じます。その中でも、地域の子も達と一緒にホタルの幼虫を放流したり、ホタルの育成に欠かせない綺麗な水環境を整えるためにEM菌団子を作り、川や堤に投入されている活動は、自分たちの手で作る“まつり”を通して、子ども達に地域への愛着を持ってもらう取り組みとなっています。



青木 照美 議長

このたび合志市議会議長を拝命しました青木照美です。市議会議員の代表という立場の重みを、身の引き締まる思いで受け止めております。

今年合志市が合併20周年を迎える節目の年。熊本地震やコロナ禍を経て、市民生活は大きく変化しました。近年は半導体関連企業の進出や、辻久保・御代志地区の開発により、まちの風景も様変わりしています。

一方で、企業誘致や開発などに伴う交通渋滞の深刻化や農地減少、工場立地に伴う水環境への配慮も重要性を増しており、まちの発展と自然との調和が問われています。また、子育て支援や高齢者福祉の充実なども引き続き重要なテーマとなっており、取り組むべき課題は山積しています。

社会の変化と合わせて市民の議会への期待もますます多様化する中、行政にしっかりと市民の声を届ける“市行政へ物申す議会”として、全員野球の精神で市議会議員19名が一丸となって取り組んでまいります。今回は4名の女性議員がそれぞれ副議長・副委員長に就任し、多様な視点の反映にも努めていきます。

今後も住民福祉の向上を第一に、行政と情報を共有しながら、全力疾走で議会活動に邁進してまいります。



来海 恵子 副議長

このたび、5月9日に開会された臨時会において、副議長に就任しました。

合志市合併20周年という節目の年に、このような大役を仰せつかり、大変光栄に感じると同時に、その責任の重さを強く実感しております。

これからは、青木議長をしっかり支え、議員各位のご意見に耳を傾けながら、「チーム議会」として一丸となり、是々非々の立場で市長部局と議論を重ねてまいります。

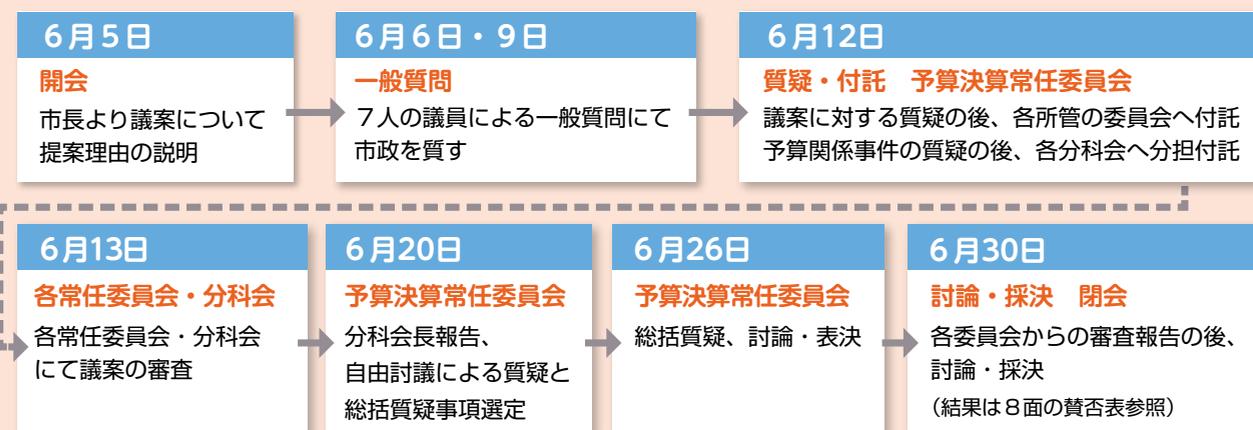
特に、渋滞対策、少子高齢化への対応、そして財政の健全化といった、合志市の重要課題にしっかりと取り組んでいく所存です。そうした取り組みが、市民の皆さまの“幸福度アップ”につながり、「合志市に住んでよかった」と思っただけの事を願って、これからも頑張ります。

合志市議会 第1回臨時会

5月9日

開会 正副議長の選挙、常任委員会の選任

合志市議会 6月定例会の流れ



もくじ

CONTENTS

- まつり紹介、正副議長挨拶……………1
- 第1回臨時会、6月定例会の流れ……………1
- 令和7年度一般会計補正予算、条例改正、人事案件等……………2
- 常任委員会・分科会の紹介及び審査概要……………3
- 予算決算審査概要の紹介及び審査概要等……………4
- 特別委員会、一部事務組合、議員表彰等……………5
- 意見書、献穀事業、大臣表彰……………6
- 一般質問、行政視察……………7
- 賛否一覧表、次回定例会日程、編集後記等……………8

令和7年度 一般会計補正予算 可決・承認

総額 320億1,304万6千円

第1号	3億6,026万6千円 (増額)
第2号	9億1,978万円 (増額)
第3号	5,891万6千円 (財源組替)

第1号

御代志土地区画整理事業 3億4,446万8千円

御代志土地区画整理事業において整備した用地の売却に伴う収入を、公共施設整備基金に積み立てることに伴い基金管理事務事業に追加するためのもの

第2号

公共施設整備基金積立金 5億4,786万5千円

中九州横断道路建設工事が総合運動公園に及ぶことによる土地の売却に伴う収入を、次年度以降の整備に係る財源とするためのもの

合志中学校グラウンドの 照明設備を新規に整備する事業 1億1,421万3千円



条例改正 可決

● 合志市特別職などの非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

選挙における各種管理者及び立会人等の報酬額について、国会議員の選挙などの執行経費の基準に関する法律に準拠するためのもの

その他3件

財産の取得 可決

- 市内小中学校10校のLED照明器具等の所有権移転に付き賃貸借するためのもの **7,590万円**
- 市の所有するコミュニティバスの老朽化に伴い、小型バス2台を購入するためのもの **5,196万8,980円**
- 市内小中学校に配備している学習用端末の更新をするためのもの **5億8,282万8,433円**

人事案件 同意・適任

合志市副市長の選任 **岡村 郷司 氏**

合志市固定資産評価員の選任 **米澤 伸仁 氏**

人権擁護委員候補者の推薦 **恵濃 裕司 氏**

人権擁護委員候補者の推薦 **矢野 栄子 氏**

副市長 就任挨拶



令和7年7月1日に、副市長を拝命しました。成長し続けている合志市で仕事ができる感謝と喜びとともに、責務の重さに身の引き締まる思いを感じています。

今年3月末で県を退職するまで、商工や地域振興、防災、文化財活用などに携わってきました。これまでの経験を活かし、地域の状況をしっかりと把握し、市長、市議会、市職員と一丸

となって、「人と地域が輝く未来につながる健康で幸福な都市の実現」に力を尽くして参ります。これから、どうぞ、よろしくお願いいたします。

常任委員会・分科会の紹介及び報告

総務常任委員会・分科会



後列 辻 大二郎 後藤 修一 齋藤 正昭
前列 坂本 武人 ◎後藤 祐二 ○大塚 薫

◎は委員長 ○は副委員長

●所轄の範囲

- 総務部（総務課、安全安心課、財政課、管財課）
- 市長公室（秘書政策課、企画課） ○市民生活部（市民課、西合志総合窓口課、税務課、環境衛生課） ○会計課
- 選挙管理委員会事務局 ○監査委員事務局 ○議会事務局
- 他の常任委員会の所管に属さない事務

【常任委員会】 財産の無償譲渡

環境衛生課

問 榎山第二共同納骨堂において、無縁仏を納骨するための権利（1基）を無償譲渡とした理由は。

答 平成25年度から菊池広域連合で無縁仏納骨堂の供用が開始された。今後、使用する見込みが無く、また施設の老朽化等による資産価値の減少などを総合的に判断し、無償で譲渡とすることとした。

【分科会】 令和7年度合志市一般会計補正予算（第2号）

財政課

問 公共施設整備基金積立金は、運動公園の代替施設整備の財源とするのか。

答 次年度以降の公共施設整備の財源とする。

総務課

問 行政経験者の職員募集について、人口減少が著しい地域では、職員の流出は、地域の将来性への課題となるが、どの様に考えているか。

答 公務員経験者としており、現職の自治体職員のみならず、現職の自治体職員以外にも絞っているものではない。中途退職者が相次ぐ状況を踏まえ、即戦力の確保という観点で行なっている。

安全安心課

問 消防施設整備費補助金が不採択の理由は。

答 熊本県を通じて国に問い合わせたところ、予算の範囲内において採択できなかった。

環境衛生課

問 硝酸性窒素の削減目標は。

答 県が策定した目標に従い、地下水中10mg/Lを超える箇所は5mg/L以下にする方向で検討したい。

文教経済常任委員会・分科会



後列 澤田 雄二 濱元幸一郎 吉永 健司
前列 ○中元 緑 ◎辻 藍 上田 欣也

◎は委員長 ○は副委員長

●所轄の範囲

- 教育委員会事務局教育部（学校教育課、生涯学習課、人権啓発教育課） ○都市建設部（建設課、都市計画課、都市整備室、用地対策室） ○水道局（水道課、下水道課） ○産業振興部（商工振興課、農政課） ○農業委員会事務局

【常任委員会】 合志風の森小中学校増築機械設備工事請負変更契約の締結

学校教育課

問 屋外消火栓の使用について、訓練の考えは。

答 各学校で消火訓練は実施しているが、合志風の森小中学校においては今後、屋外消火栓の使用についても現場で使えるよう訓練をする必要があると考える。

【分科会】 令和7年度合志市一般会計補正予算（第2号）

生涯学習課

問 今後の学校グラウンド照明整備計画についての考えは。

答 今回は総合運動公園の代替地として合志中学校を整備する。他の学校からも要望があがっているが、財政状況を考慮し、計画的に進める。

学校教育課

問 学校給食費負担軽減事業補助金は、当初予算に計上できなかったのか。当初予算で組んだほうが4月からの献立の充実に繋がるのではないか。

答 財源となる負担軽減事業補助金の繰越決定が遅かったため、当初予算での計上ができなかった。今後は、給食費の公会計化を踏まえ、予算の組み方について考慮する必要がある。

農政課

答 小規模治山事業は広く周知されているか。

問 土砂災害により被害が発生する恐れのある急傾斜地において、被害を未然に防止するため、小規模な事業について市が支援するものであり、国県の対策事業も含め広く周知している。

健康福祉常任委員会・分科会



後列 犬童 正洋 青山 隆幸 西島 隆博
前列 来海 恵子 ◎永清 和寛 ○村上 香織

◎は委員長 ○は副委員長

●所轄の範囲

- 健康福祉部【福祉事務所】（福祉課、高齢者支援課、健康ほけん課） ○こども部（こども未来課、こども家庭課）

【常任委員会】 合志市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び合志市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

こども未来課

問 保育所等の連携とは、①集団保育の提供などの保育内容の支援。②職員が病気の場合等の代替保育の提供。③卒園後の受け皿の確保。の要件を満たしているということか。

答 基本的にはその3つになる。

【分科会】 令和7年度合志市一般会計補正予算（第2号）

福祉課

問 既存の障害福祉サービスメニューに、就労選択支援が追加されたが、

システム改修以外での支援は。
答 A型やB型の事業所を柔軟に希望できるように事業所の理解を図っていくほか、基幹相談支援センターを活用し就労選択支援の説明を行なう。

健康ほけん課

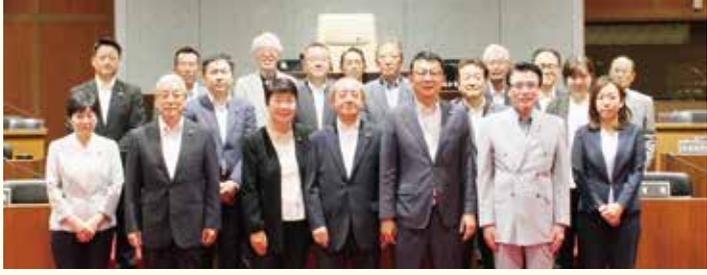
問 風疹予防接種の追加の理由は。
答 風疹予防接種を公的に受けられなかった世代に対する追加対策事業が令和6年度末をもって終了する予定であったが、国が対象期間を2年間延長することによるものである。

こども未来課

問 物価高騰対策支援は認可保育所だけか。

答 認可外保育所に関しては県の管轄となるので、県が直接支援することになる。

予算決算常任委員会の紹介及び報告



委員構成 議長を除く全議員
委員長 西嶋 隆博 副委員長 青山 隆幸

●所轄の範囲 ○予算・決算に関する事項

(1) 合併特例事業債について

- 問 ① 合併特例事業債の発行可能額及び発行可能年度について
② 合併特例事業債の借入額と事業内容及び償還計画について
③ 合併特例事業債の残高及び今後の活用計画について
- 答 合併特例事業債の発行可能額は約131億円で、今年度（令和7年度）が最終年度である。令和8年3月までに完了する事業に活用可能で、借入は同年5月まで可能。これまでに約119億円を借入れ、主に教育施設や道路整備に充当している。償還は約60億円完了し、残り約59億円を令和26年度までに全額償還予定であるが、今年度に借り入れる起債によってはその期間が延びる。交付税措置率が高く財政的に有利な起債であるため、合併特例事業債の残額約4億8千万円について、一般財源等の事業や交付税措置が低い起債の代替として全額活用を予定している。

(2) コミュニティバスの再編について

- 問 ① コミュニティ交通の本来の意義及びこれまで実施した事業効果の確認について
② 路線バスやタクシー事業者との連携及び情報共有について
③ 再編に伴い廃線となった地域での利用者に対する配慮について
- 答 コミュニティ交通は交通弱者の支援や外出機会の確保、公共交通の不便地域の移動手段確保を目的としている。利用実態やニーズ把握を踏まえ、平成18年導入以降で2度の大きな再編を実施しており、利用者から一定の評価も得ている。利用者数も導入時の約18,000人から令和6年度利用者88,000人へと増加している状況にある。バス・タクシー事業者や住民代表等で構成された公共交通協議会にて、交通計画や再編計画の策定を行な

審査日程

令和7年6月12日（木）

全体会

質疑および分科会（総務分科会・文教経済分科会・健康福祉分科会）を設置し、付託事件の審査を行なうこととした。

令和7年6月13日（金）

分科会

3分科会による審査を行なった。

令和7年6月20日（金）

全体会

分科会長報告を行ない、自由討議を経て総括質疑事項を決定した。

令和7年6月26日（木）

全体会

執行部に対する総括質疑の後、討論、表決を行なった。

うことで情報共有を図っており、また、事業者に対しては、運転手確保・育成支援策を実施するなどして、協力体制の構築を図っている。バスルート廃線地域は平日毎日運行の乗合タクシーで代替し、便数の増加を計画している。再編後の市民等の意見については、早急に地域公共交通協議会作業部会にて議論し、柔軟な対応や利用者ニーズの把握に努めていく。

(3) 道路陥没の予防と対応について

- 問 ① 本市の陥没事故の原因及び件数、並びに情報収集の在り方について
② 漏水等による陥没事故への予防と対策について
③ 漏水等による陥没事故への迅速な取り組みについて
- 答 道路の表層部分の陥没は梅雨時期に多発する傾向があり、舗装の小さなひび割れから雨水が侵入することで発生する。令和5年度226件、令和6年度213件の緊急修繕を実施。老朽している部分等については計画的に舗装打ち換えを行ない予防と対策をしている。職員巡回や、市の公式ラインを活用した市民通報、協定先からの情報などで異常を把握している。道路の表層部分の陥没が事故の大多数であるものの、漏水などによる地下部分の陥没が過去5年で水道1件、下水道3件あっている。水道は音聴による数年サイクルでの漏水調査のほか、新たに衛星による調査も今年度実施。下水道はカメラによる計画的な点検に加え、全てのヒューム管の電磁波調査も準備中。上下水道ともに、調査にて判明した漏水や破損箇所の修繕・布設替え等を実施している。陥没発生時は職員が即時対応し、交通規制や業者による復旧を迅速に実施している。必要経費は当初予算や予備費で対応する。また、国通達による「地下占用物連絡会議」の開催により、占用施設を持つ担当課・関係機関等をまたいだ情報共有も今後展開していく。

議会運営委員会



後列：坂本 武人 辻 藍 来海 恵子 吉永 健司 永清 和寛
前列：□青木 照美 ○西嶋 隆博 ○後藤 祐二

○は委員長 ○は副委員長 □はオブザーバー

●所轄の範囲

- 議会の運営に関する事項
- 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- 議長の諮問に関する事項

議会広報調査特別委員会



後列：村上 香織 辻 藍 永清 和寛
前列：大塚 薫 ○辻 大二郎 ○中元 緑

○は委員長 ○は副委員長

●所轄の範囲

- 議会情報を市民に分かりやすく知らせるための議会だよりの編集・発行に関すること

広域公共交通ネットワーク網構築推進特別委員会



後列：坂本 武人 辻 大二郎 青山 隆幸 ○澤田 雄二 辻 藍
前列：青木 照美 ○吉永 健司 来海 恵子

○は委員長 ○は副委員長

●所轄の範囲

- 熊本電気鉄道の利用状況の調査に関すること
- 御代志～熊本間鉄軌道結節の効果予測及び推進に関すること
- 市内コミュニティバスの利用状況及び、利用者ニーズの調査に関すること
- 鉄道、公共バス、タクシーの利便性向上に関すること
- その他、公共交通網の構築に有効な事業に関すること

半導体拠点整備促進特別委員会



後列：後藤 祐二 西嶋 隆博 吉永 健司 永清 和寛
前列：青木 照美 ○坂本 武人 ○後藤 修一 来海 恵子

○は委員長 ○は副委員長

●所轄の範囲

- 半導体サプライヤーの誘致策に関すること
- 成長著しい東南アジア諸国との国際交流基盤構築に関すること
- 幹線道路の早期整備促進に関すること
- 土地需要の調査及び計画的土地利用の推進に関すること
- その他、一帯整備に有効な事業に関すること

合志市台湾友好促進議員連盟



台湾との友好的な交流を推進し、もって本市の国際化に資することを目的としています。

会 長 坂本 武人
副 会 長 後藤 祐二
事 務 局 辻 藍
所属議員 吉永 健司 (顧問)
青木 照美 来海 恵子 上田 欣也 後藤 修一
西嶋 隆博 青山 隆幸 齋藤 正昭 澤田 雄二
辻 大二郎 永清 和寛 大塚 薫 村上 香織
中元 緑

防衛議員連盟



国防思想の普及・啓蒙を図るとともに、市民と自衛隊の相互理解を深めることにより、自衛隊の充実・発展に寄与し、もって日本の平和並びに市民の安全に貢献することを目的としています。

会 長 吉永 健司
副 会 長 来海 恵子
幹 事 長 西嶋 隆博
事 務 局 青山 隆幸
所属議員 青木 照美 坂本 武人 後藤 修一 澤田 雄二
後藤 裕二 辻 大二郎 辻 藍 永清 和寛
大塚 薫 村上 香織 中元 緑

一部事務組合議会議員

菊池広域連合

菊池郡市2市2町で構成された、消防・火葬場・し尿処理・清掃行政の一部を共同で行なうための組織です。

連合議長 青木 照美
来海 恵子 吉永 健司 坂本 武人
青山 隆幸 永清 和寛

菊池養生園保険組合

菊池市・合志市で構成された療養所の運営、管理を共同で行なうための組織です。

来海 恵子 後藤 祐二
辻 大二郎 辻 藍

県後期高齢者医療広域連合

主に75歳以上の高齢者に係る、医療の給付等の実施を目的に設置されている特別地方公共団体です。

齋藤 正昭

会派構成

九思会

代 表 坂本 武人
幹 事 長 澤田 雄二
政務調査会長 辻 藍
所属議員 吉永 健司 (顧問) 来海 恵子 後藤 修一
西嶋 隆博 青山 隆幸 後藤 祐二
辻 大二郎 永清 和寛 村上 香織
中元 緑

公明党

代 表 大塚 薫

日本共産党合志市議団

代 表 濱元幸一郎

無会派

上田 欣也 齋藤 正昭 犬童 正洋

※議長に関しては、会派間の公正・中立を担保する意味において、自ら任意で会派を離脱しています。

議員表彰

第101回全国市議会議長会定期総会において吉永健司議員、青木照美議員が議員在籍20年、上田欣也議員が議員在籍15年、青山隆幸議員、齋藤正昭議員、澤田雄二議員が議員在籍10年の表彰を受けました。



吉永 健司 議員



青木 照美 議員



上田 欣也 議員



青山 隆幸 議員



齋藤 正昭 議員



澤田 雄二 議員

委員会提出議案

可決

教育現場の地域格差是正を求める意見書

全国的な課題である教職員の確保に伴い、産休代替職員など臨時採用職員の確保にも大変苦慮している学校現場ですが、さらに本市では年々児童生徒数が増加しており、教育現場の負担はすでに看過できない水準に達しています。

文部科学省の学校基本調査によると、令和6年度本市の児童生徒数は7,482人、教職員数は475人で、教職員1人あたりの児童生徒数は15.8人となります。これは県内で最も多い数値です。教職員1人あたりの児童生徒数が最も少ない自治体と比べると、約8倍の開きがあります。これは、教職員が児童生徒一人ひとりと関わる時間や質において格差が生じていることを指摘でき、こうした教育環境の地域差は、すでに深刻な水準に達しております。今後も人口が増加する地域と減少する地域の間で、「教育を平等に受ける権利」に対する格差がさらに広がること懸念されます。

教員業務支援員の全校配置など、県独自の取り組みも今年度より実施されておりますが、この地域差がある中で、県内一律の教育施策を適用することには明確な限界があると断じざるを得ません。

また、現場においては、年々増加傾向にある特別な配慮を必要とする児童生徒への対応も求められています。県は、「インクルーシブ教育」すなわち障害の有無、国籍、人種、性別を問わず、すべての子どもが等しく学べる教育環境の実現に向けて、通級指導への積極的な移行を行い、支援学級の新設を抑制しております。そのため、現場の自治体では、市独自の介護補助員等で支援を行うなど対応を迫られております。

さらに、本市を含む周辺自治体においては、TSMC始め半導体関連企業の進出により、「特別な配慮を必要とする児童生徒」の中に含まれる外国籍児童生徒の増加の対応も求められています。こうした状況

の改善に向けて、先に述べた介護補助員の増員など、市町村独自の予算で対応を講じているところですが、自治体の財政力の差により、十分な対応が可能な自治体とそうでない自治体との間で、教育環境に明確な格差が生じております。

このように、教員不足に加え、児童生徒数の増加、インクルーシブ教育の推進が重なる今、この重要な局面で、現状に即した柔軟かつ迅速な対応が取られなければ、教育現場はさらに疲弊し、「すべての子どもが平等に教育を受ける権利」が根底から揺らぐことを強く懸念しております。よって、熊本県においては、上記の現状を重く受け止め、教育施策においては人口増加地域と減少地域を一律に扱うのではなく、児童生徒数などの学校規模に応じた柔軟かつ選別的な対応と、インクルーシブ教育の推進に向け、以下の点について強く要請いたします。

記

1. 教員業務支援員等の配置においては、学校規模に応じた配置を検討すること
2. インクルーシブ教育の推進に向け、特別な配慮を要する児童生徒等に対し追加加配等を検討すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年6月30日

熊本県知事
熊本県教育委員会 教育長 あて

提出者…文教経済常任委員長 辻 藍

議員提出議案

可決

地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書

消費者被害を防ぐためには、相談体制の確保や消費者教育・啓発など、地方消費者行政の充実・強化が図られなければならない。しかし、国が措置し地方消費者行政の下支えとなってきた地方消費者行政推進交付金は、令和7年度末には多くの地方公共団体で活用期間が終わるため、交付金を活用して実施してきた相談体制の維持や、消費者教育・啓発に係る事業の継続が困難となるなど、地方消費者行政の後退・縮小が懸念される。

また、被害の防止・救済の根幹である消費生活相談においては、相談員の高齢化等による担い手不足が深刻な問題となっている。相談員の担い手を確保し、安定的に業務を継続できるように雇用形態や処遇等の改善が求められており、国の主導により速やかな制度設計と予算措置を行うことが必要である。

さらに、消費生活相談のデジタル化に向け、国は全国消費生活情報ネットワークシステム（PIO-NET）に代わる新たなシステムの整備を予定しているが、端末のリース費用や、セキュリティ対策の継続的な更新費用などは、地方公共団体の負担とされており、これらの経常的費用も国の責任で措置すべきである。

よって国は、次の措置を行うよう強く要望する。

記

1. 地方公共団体の財政事情によることなく、地方消費者行政を安定的に推進するための恒久的な財源を措置すること。
2. 消費生活相談員の安定的な確保と処遇改善に係る制度設計に必要な予算措置を講ずること。
3. 国が進める消費生活相談デジタル化に係る予算を国の責任で措置すること。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出します。

令和7年6月30日

内閣総理大臣
総務大臣
内閣府特命担当大臣
(消費者及び食品安全) あて

提出者…合志市議会議員 大塚 薫 ほか13名

献穀事業



清祓祭・播種祭

献穀事業は、毎年11月23日に五穀の収穫を祝い感謝する宮中祭祀である新嘗祭に、その年に収穫された「献穀米」と呼ばれるお米等が全国の農家から奉獻される事業のことです。今年で133回目を数える歴史的、伝統的な行事で、五穀豊穰を祈り、収穫を感謝する神事のほか、民俗芸能、文化の保護育成や、農業の大切さを広く認識してもらう役割を果たしています。

熊本県では、10か所の地域に分かれて、毎年持ち回りで実施されており、今年は65年ぶりに合志市上庄が献穀齋田に選ばれました。

【神事】

- ・清祓祭・播種祭（5月27日）
「清祓祭」で齋田が清められ、「播種祭」で稲の種が苗床にまかれました。
- ・御田植祭（6月21日）
田男・早乙女の衣装を身にまとった上庄の子どもたちが献穀田に入り、丁寧に田植えをしていました。
- ・拔穂祭（10月上旬予定）
- ・奉告祭（10月下旬予定）



御田植祭

大臣表彰

西合志図書館が文部科学大臣表彰を受賞しました

西合志図書館が、「令和7年度子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣から表彰を受けました。

西合志図書館は平成7年の設立以来、様々な取り組みを行なってきました。合志市内の小学校高学年や中学生が幼児らに読み聞かせをする「お兄さんお姉さんによるお話し会」や移動図書館ひまわりどんちゃん号が市内小学校や幼保園、地域施設等を訪問する「移動図書館によるアウトリーチサービス」、学校図書館を支援する学校図書館連携、合志市内の中学生や高校生等の職場体験受入れなどが評価され、今回の受賞となりました。

この他にも、併設する天文台での星空観察会など様々なイベントが開催されています。ご興味のある方は、足を運んではいかがでしょうか。



表彰を受ける高本館長



西合志図書館HP

一般質問

各議員の一般質問の様子は、QRコードでインターネット録画をご覧ください。



青山 隆幸議員

ハザードマップに地震の記述を

問 南海トラフ地震の被害想定が見直された。本市への影響は。
答 本市では死者数はゼロの想定だが、震度5強程度の揺れが想定され十分な警戒が必要である。
問 本市の近くには立田山断層もあり、熊本市では立田山断層地震の想定を震度6弱としている。熊本市や菊陽町、菊池市では地震のハザードマップを市民に公開している。本市でも平易な地震

のハザードマップを作って市民に提示する予定はないのか。
答 現在、本市のホームページに全国地震動予測地図のサイトのリンクを掲載しているが、今後市民により分かりやすいハザードマップの作成にも取り組んでいきたい。

その他の
 質問事項

- 自転車の安全運転について
- 防災士について



上田 欣也議員

クリエイター塾による地方創生とは？

問 クリエーター塾の母体であるコンテンツ産業創出協議会の活動について、監査委員から本来の目的から遠回りしているのではないかと指摘がある。改めて、クリエイター塾が本市にない理由とは何か、お尋ねする。
答 コンテンツ産業を誘致し、それを市の第3次産業として育てることで、多様な雇用の創出、特に若者の創業や就労支援につなげ、

若者の流出を減らす一助となる事業であると考えている。
問 市民はそのことを認識しているか、それが浸透しているか。
答 様々な形で広報を行なっているが、まだまだと考える。今後市民を巻き込んだイベント等の開催などにより周知を図っていく。

その他の
 質問事項

- 交通安全対策の推進について



吉永 健司議員

保育と郷土愛について

問 来年は、丙午の年である。市独自の出生数減少対策を。
答 少子化対策については、社会全体で取り組んでいく必要があると認識している。独自の出産祝い金などを含めた検討を行なう。
問 市の保育施設は、民設、民営であるが、入所等における権限は、持ち得ない。親と同じ保育施設に入ることを望む家庭は多いが、現

状では希望に沿えていない。親子同じ保育施設で育つ事は、郷土愛醸成の原点だと思う。施設入所定員の1割程度を権限移譲しては。
答 基準表に基づき優先度の高い順に入所調整を行なっているが、幼い頃から郷土愛を育むことは、地域の活性化にも繋がると思われるので、今後、各保育施設の意見を聞き調整を行なう。

その他の
 質問事項

- 課の新設について
- 姉妹都市について



大塚 薫議員

安心して搾乳ができる環境づくりについて

問 誰もが安心して搾乳できるマークの掲示について、公共施設の授乳室、さらに商業施設にも協力を呼びかけてはどうか。
答 今後は授乳室でも安心して搾乳ができるよう、利活用の内容を具体的に表記し周知に努めていく。市内商業施設にも協力を呼びかけ、社会全体で搾乳に対する知識、理解が深まるよう周知啓発にも取り組んでいく。

問 本市の子育てアプリKokoalに、搾乳ができる授乳室施設を掲載してはどうか。
答 アプリ、市のホームページへ授乳室や搾乳ができる施設の一覧の掲載など、子育て世帯が外出しやすい環境整備に取り組んでいく。

その他の
 質問事項

- 障がい者手帳更新への支援について
- ヒアリングフレイルについて



澤田 雄二議員

農畜産業に市独自の支援を

問 総合計画施策23農業の振興より令和9年度目標値は、認定農業者数10人、生産農業所得28万円の増加である。取り組みとして、空調服購入補助を提案するが、市の方針は。
答 熱中症による死亡者数の約7割は屋外作業であり、提案については、屋外で作業される様々な産業とのバランスをふまえ、農業者の意向を整理しながら、JAや酪農組合等と協議していく。

問 酪農ヘルパーさんの利用は、離農抑制に貢献しているとのデータがあり、酪農家が利用する際、支援を行なう考えはないか。
答 酪農業の課題として、物価高騰、農地減少などがあり、酪農家にヒアリングを重ね、寄り添った対応を行なっていく。

その他の
 質問事項

- 業務委託について
- 人材交流について



村上 香織議員

公共施設の利活用について

問 市民の利便性向上と施設管理の効率化を目的に、新たな予約システムの導入を計画されているが、その必要性、スケジュール、高齢者やデジタル機器に不慣れな市民への対応策は。
答 現在は、予約管理が紙ベースで、市民の利便性向上が課題である。来年3月より新予約システム導入を計画し、電子決済にも対応。高齢者支援策として、窓口申請併用や職員による入力支援

を実施予定である。
問 老人クラブ連合会主催のイベント時、活動支援として公共施設使用料を無償化すべきと考えるが、市の見解は。
答 「合志市教育委員会の後援等」により減免の可能性はある。

その他の
 質問事項

- 都市公園地域型管理事業について



濱元幸一郎議員

防災行政無線の戸別受信機配備を！

問 災害の時、最も重要になるのが情報であり、市民に防災情報をいち早く的確に伝達することが大切だ。その重要な役割をになっているのが防災行政無線だが、地域から「聞こえにくい」「何を言っているか分からない」との声が寄せられる。防災行政無線の戸別受信機の各家庭への配備が必要ではないか。

答 戸別受信機については、情報伝達の手段において非常に有効である。次回の防災行政無線の更新時期には、高齢者、障がい者、外国人など、災害時に情報収集が困難な人たちに、戸別受信機の配備等を含めた、効果的な情報伝達の手段の検討を進めたい。

その他の
 質問事項

- PFAS対策について
- 熱中症対策について



行政視察を受け入れました

視察日	議会名	視察の目的	議会対応者
3月26日(水)	埼玉県狭山市議会 会派 健政会	(株)こうし未来研究所の 空き家対策について	後藤修一議長、 辻大二郎文教経済 常任委員長
5月21日(水)	佐賀県嬉野市議会 文教福祉常任委員会	産学官連携による健幸 都市こうしの実現に向 けた取り組みについて	来海恵子副議長、 後藤祐二総務常任 委員長



R7.3.26 埼玉県狭山市



R7.5.21 佐賀県嬉野市

賛否一覧表

※ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 可=可決 承=承認 同=同意 適=適任
 ※ 採決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり ○=賛成 ●=反対 欠=欠席 △=退席 長=議長 (議長は、議決には加わりません。可否同数となったときは裁決権を行使します。)

令和7年第1回臨時会審議結果(5月9日)

議案等の名称		議員名																			賛成	反対
		議決結果	1 中元 緑	2 村上 香織	3 大塚 薫	4 永清 和寛	5 辻 藍	6 辻 大二郎	7 後藤 祐二	8 犬童 正洋	9 齋藤 正昭	10 青山 隆幸	11 西尾 隆博	12 濱元 幸一郎	13 上田 欣也	14 青木 照美	15 坂本 武人	16 吉永 健司	17 来海 恵子	18 澤田 雄二		
市長提出議案	承2	専決処分(合志市税条例等の一部を改正する条例の制定)の承認	承	全会一致															長	18	0	
	承3	専決処分(合志市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定)の承認	承	全会一致															長	18	0	
	議34	令和7年度合志市一般会計補正予算(第1号)	可	全会一致															長	18	0	
	議33	財産の処分	可	全会一致															長	18	0	
	議35	財産の取得	可	全会一致															長	18	0	
人事	同1	合志市監査委員の選任	同	全会一致															長	18	0	

令和7年第2回定例会審議結果(6月5日~6月30日)

議案等の名称		議員名																			賛成	反対		
		議決結果	1 中元 緑	2 村上 香織	3 大塚 薫	4 永清 和寛	5 辻 藍	6 辻 大二郎	7 後藤 祐二	8 犬童 正洋	9 澤田 雄二	10 齋藤 正昭	11 青山 隆幸	12 西尾 隆博	13 後藤 修一	14 濱元 幸一郎	15 上田 欣也	16 坂本 武人	17 吉永 健司	18 来海 恵子			19 青木 照美	
市長提出議案	議37	合志市特別職等の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可	全会一致															長	18	0			
	議38	合志市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び合志市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	長	17	1
	議39	合志市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可	全会一致															長	18	0			
	議40	合志市下水道条例の一部を改正する条例	可	全会一致															長	18	0			
	予算	議41	令和7年度合志市一般会計補正予算(第2号)	承	全会一致															長	18	0		
		議42	令和7年度合志市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可	全会一致															長	18	0		
		議43	令和7年度合志市水道事業会計補正予算(第1号)	可	全会一致															長	18	0		
		議44	令和7年度合志市下水道事業会計補正予算(第1号)	可	全会一致															長	18	0		
	その他	議48	令和7年度合志市一般会計補正予算(第3号)	可	全会一致															長	18	0		
		議36	合志小学校放課後児童クラブ新築工事請負契約の締結	可	全会一致															長	18	0		
		議45	合志楓の森小中学校増築機械設備工事請負変更契約の締結	可	全会一致															長	18	0		
		議46	財産の無償譲渡	可	全会一致															長	18	0		
		議47	財産の処分	可	全会一致															長	18	0		
		議49	財産の取得	可	全会一致															長	18	0		
	人事	議50	財産の取得	可	全会一致															長	18	0		
		同17	合志市教育委員会委員の任命	同	全会一致															長	18	0		
		同18	合志市副市長の選任	同	全会一致															長	18	0		
	諮問	同19	合志市固定資産評価員の選任	同	全会一致															長	18	0		
		諮1	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	適	全会一致															長	18	0		
議会提出意見書	諮2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	適	全会一致															長	18	0			
	意提1	「教育現場の地域格差是正を求める意見書」の提出	可	全会一致															長	18	0			
	議提2	「地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書」の提出	可	全会一致															長	18	0			

令和7年第3回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名	主な内容
9	2	火	本会議	市長提出議案上程及び提案理由説明
	3	水	本会議	一般質問
	4	木		
	5	金		
	9	火	本会議	質疑、各常任委員会付託
			予算決算常任委員会	質疑、各分科会分担付託等
	10	水	常任委員会(分科会)	付託事件の審査
	11	木		
	12	金		
	18	木	予算決算常任委員会	分科会長報告、自由討議
25	木	予算決算常任委員会	総括質疑、討論、表決	
29	月	本会議	委員会審査報告(質疑、討論、採決)追加議案(上程、質疑、討論、採決)	

議会広報調査特別委員会

委員長 辻 大二郎 副委員長 中元 緑
 委員 辻 藍 委員 永清 和寛
 委員 大塚 薫 委員 村上 香織

インターネットで議会の様子をぜひご覧下さい。

合志市議会

検索



ホームページアドレス

<https://www.city.koshi.lg.jp/gikai/default.html>

編集後記

まだまだ暑い夏が続いています。近年は、自然災害の脅威を身近に感じるようになってきました。地球温暖化の影響で、この夏も厳しく、体温に近い、あるいは体温を超えるような日が続いています。本市では、熱中症を防ぐため、今年も危険な暑さから身を守り、休憩を取っていただけるよう、冷房設備のある市内の該当施設を「クーリングシェルター」に指定し、受け入れ可能人数・開庁日・開館日に限って、一般開放しています。ぜひご利用ください。

議会だより「きずな」の表紙では、合併二十周年を迎えるにあたり、本市の良さを改めて見直すことを目的としています。昨年、市内中学生と議会広報調査特別委員会との間で、市内の魅力・課題・二十年後の理想の合志市について話し合うワークショップが開催されました。

その際、「合志市についてもっと知りたい」という意見が寄せられたことからヒントを得て、今年度は本市の「まつり」をテーマに取り入れていきたいと考えています。

地域の各種まつりについては、把握している範囲で、掲載を検討していますが、市民の皆さまから「掲載してもよい」と思われる地区のまつり情報がありましたら、ぜひ議会事務局までお寄せください。なお、情報が多い場合は、すべてを掲載は出来ないこともありますので、あらかじめご了承ください。酷暑の夏が続きますが、どうか皆さま、体調には十分気を付けてお過ごしください。

(委員長 辻 大二郎)